

北上市立大学（仮称）基本構想市民フォーラム
会場からの質問・意見

[質問・意見の状況]

- (1) 質問・意見の総数 36 件
(2) 質問・意見の概要 次のとおり

※ 1つの意見を分けて記載している場合や、同類似した意見を集約して記載している場合がある。

大学の教育研究や地域貢献、特徴に関すること

- 給付金型奨学金を前提とした大学として欲しい。
- 黒工、黒北が定員割れしている中で、高大連携可能なのか？西和賀のように市をあげて市内の高校をサポートしなければならないのではないか。
- 当該大学の入学に際し、何かインセンティブなど考えているか？
- 岩手大、県立大、高専、私大での知の拠点と大きな差別化を考えているか？
- 国立大の授業料が高くなると市大はそれにならうのか？
- 世界標準の大学が必要なのか？既存大学は世界標準を目指しているのではないか。
- 学生が何を学び実践ができたか理想は？小中校の教育は大学につながると思うか？日本語教員の必要性は？北上に革新的大学ができるか!!地域と連携できる大学はできるか。
- 教育という広い分野の基礎教育を入学初期からさせて、30-40年先をみすえた教育実践させるというが、大学卒業後に就職先で分野を超えた教育指導受けると思うが、大学で完結をめざすのですか？
- 研究重点、教育、地域貢献と多岐にわたっていますが、東北、全国、全世界の他大学との差別化はどう考えられているのか。本気で全てもうらするのであれば、その勝算は？
- 工業系の大学とのことですが、文化や地理に関する教育は？
- 中山間地の人々への貢献は？
- 大学内の共通言語を英語にする
- 学生が24時間利用できるとしょかんをつくること
- 研究費があるかないかで大学のランクが決まる。無い大学に人は集まらない。
- I L C とのコラボで予算の上乗せを考えたらどうか。グローバル大学の設置。
- いまだに家父長制が根強く残っていて、女性蔑視を実際に経験したり、外国人差別を目にしたことがある。多様性を重視した教育や、人材の育成をどのようにしていけるのかが気になりました。

大学のメリットに関すること

- 何をもって、この大学の設置が北上市民にとって利益となるのか、今までの話を聞いていてもわかりません。わかるように教えてほしいです。
- 大学設立がされるようでしたら一市民としてうれしいですし、わくわくいたします。実現の際には地元中心に末永く愛される持続可能性が十分見込める大学であって欲しいと願います。ご承知のとおり、少子高齢化などもあり、VUCAと呼ばれて久しくなりました。そこで、以下おたずねしたいと存じます。生涯学習機会確保として①社会人も学びやすい学校、②アート&デザインといった内容の検討、③現存する教育機関との単位互換、連携です。①はリスキリング、リカレントも見ええると多くの方々へ門戸を開く必要性、ニーズは十分検討の余地があると考えられます。現状、首都圏との教育機会の格差やMOOCsなどのオンラインでの学びの機会はあるても、地元で密度濃い対面型学習機会は限定されます。②は汎用性高い、基盤能力として多くの方々が学ぶ価値もあり、伝統芸能への反映や、IDEO等にみられる工学との相性の良さがあげられます。③地域、北上ならではのブランディングとしても、①②もあわせ、北上全市として学びの向上を目指したいところです。

まちの姿に関すること

- 今は学生がいないのでイメージが湧きませんが、北上に学生のアルバイト先はあるものですか？
- 学生や市民が利用できるキャンパス（十分な駐車場をつくること）

財政面に関すること

- 大学の設置費用などお金がかかりすぎます。子育てや教育など他のことにお金を使うべきではないですか？
- 大学をつくるならグローバルスタンダードな大学をつくるべきだと思いますが、それはもはや日本全体の課題であり、日本中の利益につながると思います。したがって、国や県が取り組むことだと思いますが、なぜ、北上市が費用負担しなければならないのでしょうか？
- 市立大学は財政負担が大きすぎるので、反対です。
- 他の建設事業がしわ寄せを受ける恐れはありませんか。
- さくらホールや総合運動公園にかけた時の人口規模とこれからの人口には差がある、起債返還の一人当たりの金額がちがう、人口減少で一人当たりの負担が大きくなる。
- 歳入の減少→大学設置しなければ歳出も減るのではないですか？

教職員の確保に関すること

- 実際に大学に関わっている先生方の話を聞いて良かったです。わかった事は市が目指す大学の中身実現のためには良い教員を揃えなければならないということです。そこで質問、そういう先生方はどこにいらっしゃるのでしょうか？専任でいてくれますか？給料は何人位にいくら払うのでしょうか？
- 日本の大学にはすぐれた教師が少ないため、日本の大学が世界レベルになれないことはわかりました。そんな日本なのに北上市立大学にすぐれた教師があつまる保証はあるのでしょうか。
- どのようにして、優秀な教員を集めるのか？
- 良い先生方を確保するメドはありますか？
- レイトスペシャリゼーションを導入するにあたって、入試制度の設計やアドミッションポリシーの公表などを2年前までにしなくてはならないことを考えると、かなり急ピッチで作業が必要と思います。準備室など経験者の採用も急ぐ必要があると思いますが、職員採用の時期はいつごろを予定しているのでしょうか？

学生確保に関すること

- 高校生等のアンケート結果から大学設置を見込んだと思うが、学生が集まる確証が薄いと思うが。
- 工学部は岩手大学にもあります。岩手大の学部として北上キャンパスとしての設置ではだめなのではないでしょうか？学生の引っぱり合いになるのではないのでしょうか？
- 岩手大学や富士大学で工学部を充実させるという報道もあり、学生のとり合いにならないか。
- 高校入試発表があり定員に達していないところが多い それを考えると学生もあつまらないのでは
- 海外からの留学生は集まるのか（？）
- 開学に対して否定的な考えをお持ちの方の大多数が少子化の時代にあって果たして受験生が集まるのかという点があります。これに対して正確なデータを示し、わかるように説明すれば多くの方々に納得してもらえんと思います。

学生の卒業後に関すること

- 地域が活性化するためには学生が卒業後も県内に定着しなければならない。方策はあるか？
- 当該大学の卒業生について、できれば可能な限り県内、市内への就職を希望するが、当該大学設立構想にあたり、このような考えは盛り込まれているのか？

市における事業の位置付け、進め方に関すること

- 市は大学設置目的にまちづくりの課題を挙げ、その課題解決を見込めるとしているが、その要因等の検証はされたか。それは何か。
- 地方の人口減少、若者の流出に東京一極集中があると言われているが、どう考えるか。
- 市民の多大な経済的負担をとまなうと思うが、市民の意向を把握するために住民投票をすべきと思うがどうか。
- 大学より、学校給食の無償化を実施してほしい。
- 第三者機関の設置は？
- 市の課題解決のためとのことですが、市の課題とは何でしょうか。少子高齢化の今日、人口流出が問題なのであれば、奨学金制度を充実させ、若者が戻ってくる方法を考えて方が良いと思います。
- これから工科系の大学の拠点を実物として整備することは本当に利にかなっているのでしょうか。
- 基調報告のp. 17の資料にある「市民の懸念」について、しっかりと検討して市民に説明していただきたいです。p. 38の下の部分にある「決して不可能な数字ではない」は、人口減で税収減になっては同じことを言えないのではないかと思います。理想の話、夢の話だけでなく、現実的な話をもっとしっかり議論して公開してほしいと思いました。
- 北上の子どもたちが市外や県外の大学に進学すると親の負担が大きくなるので市内に公立の大学をつくりたいということではじまったと聞いたが、世界の大学になったら、北上の子どもたちは学年で数人しか入学できないのではないか。それでは意味がない。
- 学生が定員を下回った場合や運営がうまくいかない場合市財政への負担がかかり、福祉等予算が減らされたり市民の負担が増えることが考えられる。
- 大学をつくるより、北上市の医療、交通網の整備に力を入れてほしい
- 情報保障がないことが気になりました。すべての市民が参加しやすい環境であると良いと思います。
- 大学のビジョンを示し、なぜ北上市なのかを表すのがスタートである
- 83億円の施設、同規模実施した実績があるので大丈夫の理論は税金を使う立場として問題あると思う。今は何をやるべきか（大学…？）ちがう事と思う。
- 市議会で実施したアンケートをどう見てるのか。特に①流入増加に対して②学生確保について
- 基本構想は“スバラしい”これがしっかりまとまってから費用、収支（教員確保…）計画すべき現在考えてる費用、収支は合致してないように見える…計画通りでない、出来ないと判明したら、この計画は止められるのか、その判断基準は。

- 街の賑わいづくりを実現するのは大学設置ではないと思う。住みやすさの追求ではないか。
- 策定委員の男女比は50%にならないでしょうか。(ジェンダー学などの有識者を入れてはどうかとも考えました)
- 迫られる選択 大学なしとして岩手県内の大学、高専で学んで北上市の企業に就職するための奨学金を出すことで変えることができるのではないか。大学設置の検討して解散した→今つくる時ではない。解散しましょう。北上市は交通の便は良い→北上からも行くことができる。何よりも工学の大学は備品が必要。研究の場が広く必要。予算は毎年更新するためにまたは資材費がかかります。北上市の財政を考えると今はやめた方がよいと思います。というより不要。
- 説明、講演については、スケールの大きな話で夢がいっぱい詰まった話であるが、大学新設で失敗した例についての言及がなかった。実務に即した実施計画になった場合の危険負担の話が想定されていない。先進事例の研究、特にも失敗したケースを多く見て学び、本当に成功させることができるかどうか熟慮して判断すべき。市当局、有識者、議員は責任を負わない。負担を負うのは市民である。
- 市民サービスを押さえていく方向→市税収入の減少 大学設置が順調に行くことは難しいのでは。市財政負担が多くなれば市民の暮らしは大変になる、今でも花巻市は交通券代は高い、金ケ崎は学校給食無償、他市と差があるのに
- リスクをおかして大学を設置する本当の狙いを明確に示す必要があるのではないか。一方で大学を設置しない場合の市の産業の方向性や市財政への影響などの逆のリスクも示しておく必要もあると思います。特に市当局や議員はどちらを選択するにせよ説明責任があるのではないか。
- 大学のあり・なしから住民福祉の縮小維持を結論付けるのは無理。福祉を維持するのは市の「政策」の問題。総合運動公園やさくらホールの建設負担後現状の運営はどうなっているかの説明が必要。北上市が期待した展開になっていると思われるか。市民に十分に説明し理解を得る必要がある。理解されているとは思えない。
- 大学誘致期成同盟会設立された昭和40年頃は団塊の世代が高校を卒業していた時期ならいざ知らず少子化が進む現在北上市が100億円以上もかけて行うことには大反対である。なお、2月24日頃の各新聞紙上で国立大学の統廃合が国が関与して積極的に進めてゆく旨掲載されている最中に遂行されているのでは…各地でライフライン耐用年数問題視されており当然北上市でも真剣に取り組むこと等…財政を揺るがすようでは不安でならない。

設置認可手續に関すること

- 認可のメドは？

整備方法に関すること

- PFIは避けて通れない。民間ファンドの活用、立ち上げの考えはあるか。
- 本通り地区の再開発で、店舗やマンションが建設されたときの税収は概算でいくらくらいになるか？
- 大学の構想はとても夢があって、賛同致します。一つあります。「岩手県立」として、岩手県立大学県南校舎の可能性はありませんか。滝沢市の岩手県立大学はメディアセンターも素晴らしく、公開講座聴講など、たびたび利用させて頂いていて、素晴らしい大学と考えるからです。御検討頂ければ幸いです。

基調講演に関すること

- 外国に行って多様性を強く感じると言われましたが、それはアメリカに行くとき強く感じるという意味でしょうか。それとも、外国のどこに行っても感じるものなのでしょうか。
- これまでに手がけた独創的な大学の運営や教育の手法があれば教えていただけますか。
- “昨日の夢は今日の希望となり、そして明日は現実となる” そうだよなあと思いつながらも、大学設置に関し、前向きに思っているが、令和6年11月6日岩手日報の論壇に佐賀県三重県での県立大学設置断念の記事を読み、市として果たしてこうした県の状況と比較しどうなのか。又市民アンケートによる疑問質問の一つひとつ回答してほしい。地元で大学設置の話題が出た時に一個人、市民として、“夢、希望、実現”に向けて自分なりの意見をもって話し合いに参加できればと思っています。
- マーセド校は、人口増、富の増殖のある米国の例ですが、近未来の北上のような、老朽化し旧例に縛られがちな文科省と日本の小都市でカリフォルニア大の如き連携先もなく「新規」のみにかけて、運営の成功の見通しはどれほどだと思いますか。
- 教育理念は大いに賛成。若い時に世界に足を運び知る。本当にいいことだが、この小さい北上を基準に見ると東京、仙台での大学、あるいは仕事する中ですぐ世界に飛び立つ立地がある…町が大きくかわることの不安もある。
- 北上市立大学の設置に特化した内容ではないように思えました。

大学を取り巻く環境に関すること

- 公立大学統合再編は考えられないのか？

その他

- 片方善治先生のご見識は
- 三田紀房さんのご見識は
- 先生方々には失礼でございますが、県立大学の西沢先生、盛岡大学の高橋富雄先生方のご見識をご想像できますかな